

二十歳を祝う会の開催について

民法改正による成年年齢引き下げ後の成人式については、新名称を「二十歳を祝う会」とし、対象年齢はこれまでどおり20歳とすることとした。式典には約400名の若者が集まり、岡谷市の魅力を若者に発信できる貴重な機会であるため、式典に合わせて「ふるさと回帰」「就労支援」等の事業を実施する。

1 式典中に実施する取組み

毎年式典には約400名の若者が集まるが、より多くの若者を集め、岡谷市の魅力を発信し、「ふるさと回帰」「就労支援」に結び付けるため、出席したいと思ってもらえる式典、ふるさとに帰って来たいと思ってもらえる式典にするため、次の取組みを実施する。

- 恩師からのお祝いメッセージ
- 思い出アルバム「二十歳までの歩み」

2 配付する記念品について（保温ボトル）

岡谷市を思い出し、岡谷市の魅力を再発見してもらえるような記念品を贈ることにより、ふるさと回帰に結び付ける。また、マイボトルとして使っていただき、地球環境の保護や廃棄物の削減について関心を寄せてもらう。

3 他課との連携

市及び市内企業のPR動画の放映やチラシの配布、岡谷市のLINE公式アカウントへの登録等により、市の魅力を発信するとともに、「就労支援」「ふるさと回帰」へと結びつける。

【工業振興課】

式典の前段で市内企業のPR動画を放映するとともに就労支援情報配信に係るチラシを配布する。PR動画には、Uターンで岡谷市に就職した方へのインタビューを入れるなど、参加者の興味を引くような内容にする。

【企画課】

市のLINE公式アカウントの登録により、市政情報やイベント情報などを定期的に受け取れる等が可能となる。岡谷市の魅力を発信し、ふるさと回帰に結び付けるため、式典当日、登録の勧誘を行う。

【地域創生推進課】

市のPR動画の放映やインスタグラムフォトコンテスト2022の入賞作品の展示により、ふるさと岡谷の魅力を再発見してもらい、Uターン・Jターンの促進を図る。

